



福岡

原子力災害医療派遣チーム

として必要な知識・技能を身につけよう

2022年度
第4回 **2/4** 土 開催

定員20名 / 9:00-17:20

会場：九州大学病院

【募集開始】11/21 月 【募集締切】12/28 水

旅費支給
受講無料

お問い合わせ

長崎大学原子力災害対策戦略本部

Tel. **095-819-8536**

<https://www.gensai.nagasaki-u.ac.jp/>

お申し込み



読み込んでアクセス！
ログイン後申し込み！

対象者

原子力災害医療中核人材研修もしくは令和3年4月以降の原子力災害医療派遣チーム研修を修了し、有効期限内の修了証を有する者

内容

- 講義
1. 原子力災害医療派遣チーム
 2. 原子力災害医療派遣チームの活動
 3. 原子力災害医療派遣チームのリスクコミュニケーション

- 演習
1. 机上演習
- 実習
1. 被ばく傷病者対応

原子力災害医療派遣チーム研修

<https://retns.nirs.qst.go.jp/retnsWeb/top>

理由 1

研修の受講により原子力災害対応時の不安を軽減。

理由2

1チームは医師、看護師、放射線防護関係者等の4名以上で構成され、移動も含め5日間活動します。DMATのようにチーム数が多いと、長期的な原子力災害対応における2次隊、3次隊の派遣を想定すると、原子力災害医療派遣チームの維持と拡充が必要となります。

●	原子力災害拠点病院	① 九州大学病院 ② 唐津赤十字病院 ③ 佐賀大学医学部附属病院 ④ 佐賀県医療センター好生館 ⑤ 長崎医療センター ⑥ 済生会川内病院 ⑦ 鹿児島大学病院
●	原子力災害医療協力機関 (派遣チーム保有)	① 佐世保市総合医療センター ② 日本赤十字社長崎原爆病院
○	高度被ばく医療支援センター / 原子力災害医療・総合支援センター	① 長崎大学

※原子力災害拠点病院は、指定要件により派遣チームを保有することとなっています。

玄海原発
(佐賀県、UPZ内:長崎、福岡県)

[illegible]

令和3年度から開始された新しい扱ばく医療研修体系は、「基礎」「専門」「高度専門」に分かれます。受講生は、「原子力災害医療基礎研修」から矢印に沿って受講を進めます。受講後は、修了証書が発行され、有効期限は「発行日の3年後の年度末」となります。

